

## 115 千葉英高等学校

千葉県 建築設計——内井昭蔵建築設計事務所

鉄筋コンクリート造+鉄骨造、地上3階建、1987年

体育館の屋根は鉄骨造アーチを鉄筋コンクリート柱が支えて  
いる。アーチからの水平力は柱が片持ちとして下部に伝えてい  
る。

小体育館の2階スラブは中空スラブである。18m×28mの

広さで、スラブ厚は65cmである。

図書館棟の屋根は、直径約10mのコンクリートドームであ  
る。

左上：1階平面(S=1/1700)

右上：体育館内部

下：グラウンド側から見た

全景

撮影：小川重雄

